

宮崎市立生目南中学校 1年生 景観教室レポート

景観は、海、山、川などの自然環境、建物や道路など目に映るまちの姿だけでなく、雰囲気や文化歴史などの印象を含め、生活空間や環境そのものであり都市の個性や文化水準を表すものです。

生目南中学校では、景観を学ぶことを通して、景観への関心や意識の向上、郷土への愛着を図ることを目的とし、令和4年6月に宮崎市景観課と(一社)宮崎県建築士会の協力により、1年生42名を対象とした『景観教室』を計4回行いました。歴史的な建造物や、史跡等が残る生目南地区の特徴や雰囲気を感じ、班ごとにテーマを決め、それぞれの方法で個性的に表現しました。

第1回「景観を知る、考える」

6月2日(木) 5・6時間目

■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何か」という内容で、建築士会の工藤さんによる基礎的な授業が行われました。また、iPadを使った参加型クイズは大変盛り上がりしました。自然や建物など、国内や世界の景観写真を見ながら、景観の考え方を学び、景観づくりでは「市民・行政・企業」が協力することが大切なことを知りました。



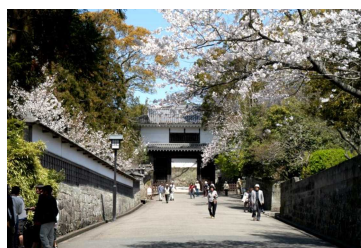
自然・道路(ワシントンアパーム)



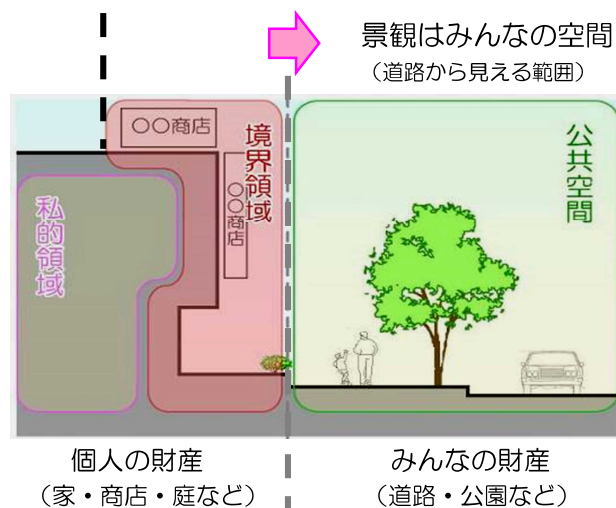
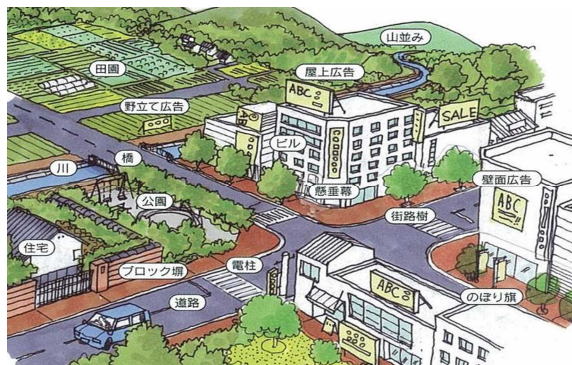
建築物(宮崎県庁本館)



産業(田野町にある大根やぐら)

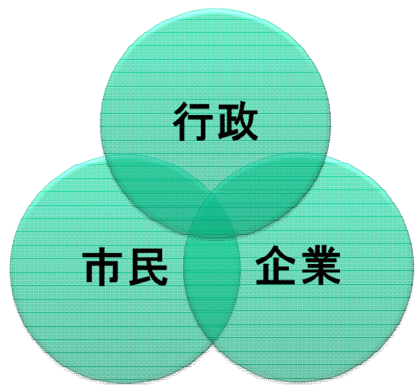


歴史(日南市 飢肥)



☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

- ①景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史…
- ②景観はみんなの財産(宝物)、みんなの手で作る、守る、育てるもの。



講師の工藤さん(建築士会)



iPadを使って真剣に取り組んでいます。

- 後半は、身近な景観について考えてみました。

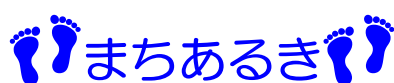


自分の家のまわりのことどれくらい意識しているかな？
壁の色、屋根の形や色、家の周りには何がある？隣の家の色は？学校の色は？門の形は？みんなでたくさん意見を出し合いました。

◆次回の「まち歩き」に向けて、班ごとにテーマ設定や調査項目、調査ルートについて話し合いました。

チーム名	〇〇〇〇
景観で興味をもったこと	・みどり、色 ・建物、様子 ・歴史
テーマ	生目南の歴史と景観のつながり
提案	「〇〇〇〇の景観」がもっと△△△△になる提案
調査項目	・古い建物の数 ・古い建物の種類 ・古い建物の色
調査エリア	地図に示す

第2回「景観を調べる」 6月9日（木）5・6時間目

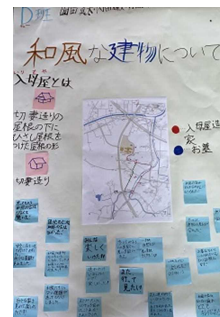


班ごとにテーマに沿って景観調査

☆出発☆



◇まとめ作業◇
調査箇所、ポイントを地図に落とし、各自感じたことなどを付箋に書き張り付ける



☆☆ 中間発表 ☆☆

第3回「景観を表現する」 6月16日（木）5・6時間

- 地域の景観・魅力をまとめて、表現してみよう！

2回目のまちあるきについて振り返り、地域の景観の特徴をまとめ、各班ごとにテーマにそって整理し、「伝えたい日常風景」や「地域の景観がこれからどうなってほしいか」などについてグループで話し合い、成果のイメージを考えました。写真の選定など大変な作業もありましたが、お互いに協力して取り組んでいました。





第4回「発表する」

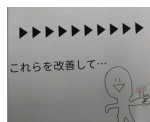
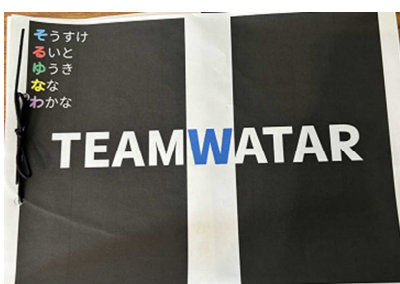
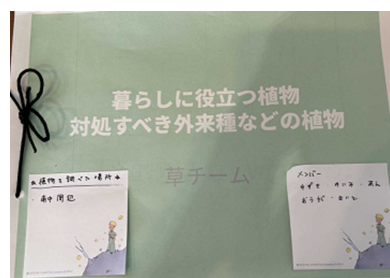
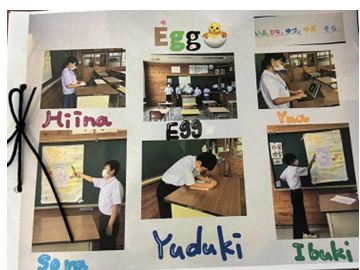
6月16日（木）5・6時間

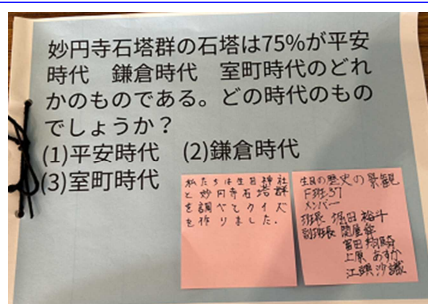
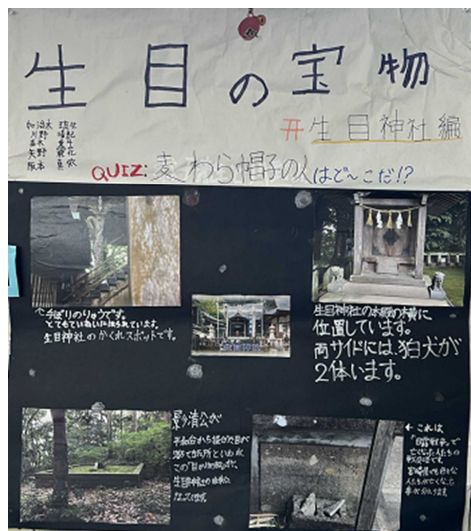
生徒自らの目で地域の財産である景観から、それぞれの視点でテーマをみつけ、探求し、成果品を作成しました。模造紙や画用紙のほか、iPad を使用しデータで作成するなど、個性の光る、すばらしい内容となりました。



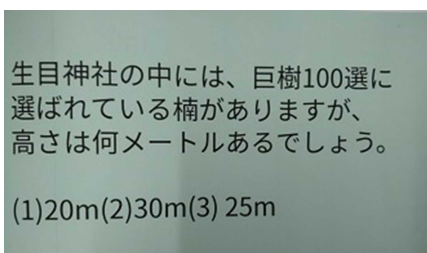
※文化発表会での展示の様子※

☆☆ 地域愛のあふれる作品になりました ☆☆

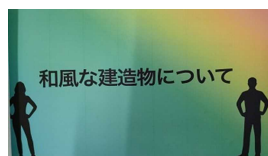
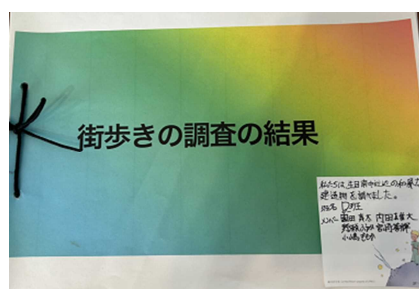




答え 室町時代



答え 30m



■ 生徒の皆さんの感想（一部を紹介します）

- 自分の知らなかった町の一面を知ることができた。いつも歩く道もたくさんの景観があることに気付いた。景観によって、気分も変わると思うし、その景観が何かの役に立ったりする。人の心まで動かしてしまう景観に僕は驚いた。ただの風景であるが、配色やほかの景観との相性によってなにかが変わるのだ。「感じる」ということが景観のいい所だと思う。
- まちあるきをしてみて、何気なく見ている植物のほとんどが外来種だということを初めて知りました。他にも日光を遮って室温を下げてくれるグリーンカーテンの存在を教えてください、調べる機会をくださり本当に感謝しています。生活に役立つ植物を自分の生活にも取り入れてみたいです。
- 水辺の景観を調査するため大谷川へ行きました。僕たちの理想は、ベンチがあり、花があって、川で遊べるという川です。今は、ヘビの抜け殻があり危険だけど僕たちの理想になるといいです。
- まちあるきのルートを地図になぞり、付箋を使って特徴をまとめました。いろんな発見があり、みんなと話し合いながらする景観教室が楽しかったです。最後に僕は発表する係で、自信がなかったけど、せっかくみんなが頑張ってくれてくれたバトンだったので頑張りました。担当の人が褒めてくれて嬉しかったです。

■ 景観教室を終えて

今回の景観教室では、タブレットを使いながら授業を進めましたが、私達にとっても新しい試みでした。不安もありましたが、皆さんが予想以上にタブレットを上手に使いこなしながら、楽しそうに取り組んでいる姿をみることができました。

地域の景観を考えて、自分たちなりにかみ砕き、何かをつくる、提案するというちょっと難しい内容だったと思います。グループで話し合い、興味のある分野を模索しながら、それぞれの切り口で成果を作っていく。アプローチの仕方も、出来たものも、個性豊かで、とても良かったです。

これからも、今の私たちの活動が、未来の景観につながるんだなあと、たま〜に思い出してもらえると嬉しいです。

ありがとうございました。

（一社）宮崎県建築士会 工藤 登紀子